

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	01 子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない		
大施策	子ども高齢者障がい者等への虐待やDV等を減らす		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・家族等、子ども、高齢者、障がい者等を支援する人の日常生活に関する悩みや不安を解消する ・市民の知識と自覚を高め、早期発見への協力を促進する ・関係機関と連携して早期発見と素早い対応に努める 		
主担当部長	健康福祉部長（塚本 由佳）	主担当課	子育て支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	虐待やDVなどが起こらないように見守る地域のネットワークができていると思っている市民の割合	%	23.1	27.3	30.4	30.9	35.3	49.5	○
2	虐待、DVの件数（相談件数）	件	1,685	2,155	1,928	1,722	1,780	1,909	○
3	虐待、DVの件数（認定件数）	件	59	32	39	80	42	29	▲
4	虐待やDVなどに遭遇したときにためらいなく通報できると思っている市民の割合	%	58.3	62	61.9	60.3	69	79.3	○
5	まわりに助けを求める事ができる人がいる子どもの割合	%	85.7	83.1	85.4	83.8	90.7	94.1	▲
6	まわりに助けを求める人がいる高齢者の割合	%	59.7	60.5	62.2	56.5	68	75.6	▲
7	まわりに助けを求める人がいる障がい者の割合	%	70.9	73.6	74.1	72.5	78.9	85.3	○

■総合評価

総合評価	B	子ども、高齢者、障がい者の家庭での問題が多様化、複雑化し、報道される機会も増えたことなどから、虐待やDVに対する問題意識も高まっていると考える。家庭内においては、核家族の増加や介護疲れなど厳しい環境に変化したことや、地域とのつながりの希薄化により地域住民同士で支え合う機会が減少しており、虐待やDVの通報や相談件数が増加している。そのような中、問題を抱えた世帯を早期に把握し、対応することや孤立を防ぐことが重要であることから、こども家庭センターの設置や重層的支援体制整備事業の実施、おたがいさまセンター「ちゃっと」の取り組み等相談支援体制の強化や地域のつながりづくりに取り組んできた。周りに助けを求める市民の割合はめざそう値に届いていないが、引き続き地域のネットワーク（つながり）づくりに努める。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画通り進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる ・多様な主体者の情報交換をする機会や場をつくり、連携に努める ・市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する 		
主担当部長	健康福祉部長（塚本 由佳）	主担当課	長寿課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	医療や福祉施設、制度の利用者の満足度	%	49.6	55.9	60.4	60.6	58.9	67.7	○
2	利用できる医療施設、福祉施設の数	施設	143	188	192	190	153	173	◎
3	医療や福祉分野における連携プロジェクトの数（具体的な事業数のため運営協議会等は除く）	事業	2	9	10	9	6	11	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	本市は高度医療の提供が可能な藤田医科大学病院をはじめとし、医療機関、介護施設を多く有することから、医療、介護を受ける環境について非常に恵まれた地域である。利用できる施設数も増加傾向にある中、利用者の満足度も60%程度まで高まっている。多職種の視点による多職種合同ケアカンファレンスをはじめ地域包括ケアの充実やおたがいさまセンター「ちゃっと」など支援を必要とする市民を市民が支える仕組みやあいさつからはじまる地域の輪を広げるあいさつ運動など様々な活動を通じてサポートーや推進員が増え、安心して暮らすことができる地域づくりに繋がっている。また、専門職で構成される重層支援センターを設置したことにより、誰一人取り残されない地域づくりの実現に向け、関係機関が連携したきめ細かな支援ができる体制となった。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 明るく死角が少ない街をつくる 市民の防犯意識の向上を図る 地域の自発的な防犯活動を推進する 		
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課	防災防犯対策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	自主防犯ボランティア団体の登録数	団体	61	69	65	65	71	81	○
2	犯罪発生件数	件	833	275	396	409	712	302	○
3	この1年で、市内で怖い思いをしたことのある市民の割合	%	6	6.7	6	7.6	4.6	3.4	▲
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	<p>駅周辺への防犯カメラの設置や防犯灯のLED化が進み防犯環境は一定の整備を図ることができた。また各区では、安全安心な地域づくりを進めるため、補助金を活用し、防犯カメラや防犯灯を設置していただいている。地域の防犯意識は高く、各地域で主体的に防犯活動を実施していただいている。一方で、自主防犯団体のメンバーの高齢化や担い手の不足により、団体の活動を維持していくことが課題である。地域ごとの防犯活動機能の維持への工夫など知恵の共有機会を意識的に設けるなどしてしっかりと備えていきたい。</p> <p>空き家対策においても啓発活動を展開し、財産の適切な処分等が行われるなど高齢化への備えをしっかりと行なうことが地域の資産価値の維持として課題となってきた。</p>
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	04 いじめや自殺、引きこもりがない				
大施策	子どものいじめや自殺、引きこもりを減らす				
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒へのきめ細やかな指導や支援ができる体制をつくる 行政・学校が早期発見・早期対応の仕組みを整え、適切な対応をする 家庭・地域・関係諸機関からの情報を集約し、早期発見・早期対応を促進する 				
主担当部長	教育部長（浅井 俊一）			主担当課	学校教育課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	学校以外の習い事やグループで友達ができた子どもの割合	%	83.2	74.5	79.2	77.2	86.7	90.1	▲
2	不登校の子どもの数	人	87	176	203	175	66	49	▲
3	学校でのいじめ件数	件	85	53	77	54	63	48	○
4	市内の自殺者数	人	12	11	16	10	8	5	○
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	不登校について、学校ではフレンドひまわりの活用、スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの配置拡大等により対応しているが、複雑化、多様化、原因不明のケースも多く、有効な手立てを見いだせていないのが現状である。校内フリースクールなど新たな取り組みで一定の成果は出たものの、さらに多様な居場所作りなどの様々な対応・検討が必要と思われる。いじめに対しては、様々な兆候やSOSを経て最悪な結果に至ることも想定され、早期に兆候を発見し、都度の対応が必要である。ゲートキーパー育成やメンタルヘルスに関する知識の共有等から、専門的な見地で多くの目で見守ることや、福祉部門、教育部門にとどまらない重層的な支援体制の中で、横断的に地域や専門職など含めた様々な見地からの意見を参考に対処していくことが望まれる。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	05 子どもが良いことと悪いことの区別ができる		
大施策	善悪の区別ができる子どもを育てる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域全体で子どものしつけができる環境をつくる 子どもが学校生活で善悪を理解できるようにする 安心安全なメディアの使い方を学ぶ環境をつくる 		
主担当部長	教育部長（浅井 俊一）	主担当課	生涯学習課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	よその子どもを褒めたり注意したりできる市民の割合	%	53.7	45	45.9	46.7	63.3	71.8	▲
2	良いことと悪いことの区別ができるていると思う子どもの割合	%	79.8	87.9	88.6	87.9	84.9	89	○
3	親子のコミュニケーションがとれていると思う親の割合	%	91.1	96.5	95.3	93.9	94.4	96.3	○
4	親子のコミュニケーションがとれていると思う子どもの割合	%	87.9	83.7	86.8	87.1	91.3	93.8	▲
5	悪いことをしている友達などを見たときに注意できる子どもの割合	%	54.6	68.8	68.8	63.9	64.3	72.2	○
6	子どもの補導件数	件	742	321	381	381	591	120	○
7									

■総合評価

総合評価	B	期間全体を通して、親子間のコミュニケーションに関するまちづくり指標では、親子間でのコミュニケーションができていることへの意識の差がみられる。親子・家庭の支援、地域も含めた対話の機会の創出などを一層進めていくことが必要であり、教育など諸分野での共通のツールとなっているICTなどの活用も視野に入れて進めていく。また、よその子どもを褒めたり注意できる割合の指標について、年齢層ごとでは、高齢者のほうが褒めたり注意したりできる割合が高くなっている傾向があり、親世代の考え方方が変化してきていることや、子育てに関する地域のつながりが希薄化している傾向も読み取れる結果となっている。保護者や市民に対する講演会などの開催などから、子どものしつけは学校だけではなく、家庭や地域で行うという意識の醸成が望まれる。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである					
大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる					
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・人々のマナーの向上を図る ・ごみを捨てにくい環境をつくる ・地域に根ざした美化活動を推進する 					
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課		共生社会課		

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	まちがきれいだと感じている市民の割合	%	59.3	64.1	67.7	65.8	67.1	75.2	○
2	アダプトプログラム（公園、道路、河川等の清掃美化ボランティア活動）参加者に配布したゴミ袋の枚数／年間	枚	1,150	1,642	1,110	1,060	1,349	1,560	▲
3	積極的に清掃活動に参加している市民の割合	%	43.6	39.6	40.6	40.8	52.7	62	▲
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	ボランティアやアダプトプログラムなど多くの市民参加のもと快適な公共空間が維持されている。コロナ禍の影響もあり、清掃活動への参加が減少しているという主観指標の結果があるものの、本市の市民参加の文化は依然として高いレベルで維持されている。また、ごみの排出抑制に関わる部分においても、客観指標の結果として、市民の高い環境意識が損なわれることなく維持されている。県内でいち早く導入したプラスチック一括回収も順調に進み可燃ごみ排出抑制にも効果をもたらしている。体験型イベントである環境フェスタも回を重ね多様な担い手による意識啓発が定着した。増加する外国籍住民についてもゴミ出しのルールの多言語化など対応している。公共空間の快適性やごみの排出抑制については、これからも市民とともに取り組んでいく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	
大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる	
大施策を構成する中施策	・利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する ・交通ルールの理解と遵守を促進する	
主担当部長	経済建設部長（星子 恭士）	主担当課 土木課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	交通マナーが良くなったと思う市民の割合	%	39.1	47.2	50.9	50.7	49	58.9	○
2	安全に通行するための適切な交通規制や対策があると思う市民の割合	%	39.1	44.7	50.1	52	48.1	57.8	○
3	道路がスムーズに走れると感じる市民の割合	%	40.1	40.4	38.6	38.6	50.3	60.1	▲
4	交通事故発生件数（歩行者・自転車・自動車）	件	403	160	166	195	329	265	◎
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	交通ルールの理解と遵守を目的とした交通安全啓発活動により、交通マナーが良くなったと思う市民の割合は順調にめざそう値に向かっていることから、今後も啓発活動を推進する。交通安全対策として、通学路交通安全プログラムに基づき通学路における関係機関による危険個所の点検を行い、対策が必要な個所において防護柵の設置、区画線の設置等を実施し、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を行い、継続的に実施していくことが重要である。また、区長要望工事を推進することにより路肩部の側溝を蓋付に改修し、歩行者の安全に通行を可能とする歩行空間の確保が行われている一方、道路がスムーズに走れると感じる市民の割合が低下していることから、効率的な道路舗装の点検を行い、効果的な草刈りの実施を模索する必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	08 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	
大施策	交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする	
大施策を構成する中施策	・公共交通の利便性を良くする ・市内外の移動がしやすくなるように、道路交通網を整備する	
主担当部長	経済建設部長（星子 恭士）	主担当課 都市計画課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	交通アクセスが良くなったと思う市民の割合	%	59.3	62.4	62.8	63.8	66.7	73.2	○
2	豊明3駅の年間利用者数（千人）	千人	11,930	11,283	11,683	11,776	12,933	14,006	▲
3	転入者数(年間)	人	3,327	3,517	3,408	3,652	3,636	3,959	○
4	転出者数(年間)	人	3,281	3,419	3,425	3,490	2,996	2,793	▲
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	平成31年にひまわりバスの全面路線改正を実施し、コンパクトな路線にして運行本数を増加した。併せて、交通不便地域では、チョイソコとよあけを導入し、民間企業と連携した交通施策をスタートした。コロナ禍による移動需要の低下以降、豊明3駅の年間利用者数は目標値に達していないが、元来多くの利用者数を有する駅を含み、今後の回復傾向と市営駐輪場の開設による駅利用者の利便性の向上から利用者増加が期待されることから今後も利用者数を注視していく。道路交通網整備として県事業主要地方道名古屋岡崎線整備を中心に市道桜ヶ丘沓掛線の接続のため設計業務や用地調査業務を実施した。今後は刈谷スマートインターチェンジへの重要なアクセス道路となり名古屋市緑区方面への充実した道路ネットワークの形成のため事業推進の協力をする。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	09 空気がきれいである	
大施策	きれいな空気を保全する	
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・排気ガスの排出量を抑制する ・市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする ・エコライフを促進する ・緑の多い生活環境をつくる 	
主担当部長	経済建設部長（星子 恭士）	主担当課 環境課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	空気がきれいだと感じている市民の割合	%	71.8	72.3	72.6	74.6	76.6	81.3	○
2	一人当たりの公園・緑地面積	m ²	9.4	11.2	11.2	11.3	9.9	10.4	◎
3	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値（二酸化窒素）	ppm	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	◎
4	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値（浮遊粒子状物）	mg/m ³	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	◎
5	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値（光化学オキシダント）	ppm	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	○
6	再生可能エネルギーを利用したいと思う市民の割合	%	65.9	68.2	66.4	62.6	72.1	78.8	▲
7									

■総合評価

総合評価	A	空気がきれいを表すためのまちづくり指標は概ね順調に推移しているため、引き続き公害対策監視活動を継続しつつ気候変動影響の観点から豊明市環境基本計画、とよあけエコアクションプランにもとづき温暖化対策を一層進めていく。令和5年度には愛知用水の敷地を一部有効活用し、新設公園として館西公園を整備し、公園・緑地面積はめざそう値を達成しており、今後の都市公園の管理については指定管理者と充分に協議を重ねながら、目指す市民一人当たりの公園・緑地面積を確保しつつ、各種イベントを通じ、フラワーボランティアの方々とも連携しつつ花の街豊明として、公園の花壇植え替えや各種イベントを実施することにより利用満足度を高め、関連指標に対して良い結果をもたらすよう貢献していく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民とともに緑が続く環境をつくる ・日常生活の中で自然を実感できる環境をつくる ・生活利便性の高い街をつくる 		
主担当部長	経済建設部長（星子 恭士）	主担当課	都市計画課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	買い物や窓口行政サービスが便利になったと感じている市民の割合	%	57.4	62.4	59.4	53.4	65.1	72.6	▲
2	市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合	%	59.3	62	63.6	61.5	66.5	73	○
3	身近に自然に親しむことができる場所があると思う市民の割合	%	62.2	63.6	65.8	62.3	68.4	74.6	○
4	市街化区域内人口の割合	%	74.7	76.8	77.3	77.4	76.8	78.7	○
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	いずれのまちづくり指標も、めざそう値には届いていないものの順調に推移している。「チョイソコ」の導入や「おたがいさまセンターちゃんと」などの取り組みから「買い物や窓口行政サービス便利となっている」と感じている市民の割合が高い水準を維持しており評価に値する。市民及び転入者が住み続けたいと感じるような市街地の整備として、2地区において土地区画整理事業を実施しており造成工事等が計画通り進められ、商業施設の配置、公園の整備による景観の保全など住民の生活を考慮したまちづくりにより、子育て世代などの住宅の供給を図る方向に進んでおりさらに推進していく。日常生活の中で自然を実感できる環境をつくる取り組みとして、公園、街路樹の適正な管理を目的とした樹木剪定や草刈りの実施を推進していく。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる 市民の体調や基礎体力を整えるための活動を支援する 一緒に運動を楽しむ仲間を増やし、リーダーを育成する 		
主担当部長	健康福祉部長（塚本 由佳）	主担当課	健康推進課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	スポーツをするために必要な情報が得られている市民の割合	%	30.4	37	39.7	39.3	44.8	58.7	○
2	スポーツを教えてくれる人がいると思う市民の割合	%	24.6	26.4	29.3	27.5	35.6	46.4	○
3	スポーツを楽しむことができている市民の割合	%	37.1	37.7	40	35.4	47.7	58.9	▲
4	医療機関にかかっていない市民の割合	%	15.2	16.3	14.3	14.3	21.8	29.2	▲
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	食習慣の改善とともに運動習慣を身につけるなどの適切な生活習慣は、生活習慣病予防のほか、身体的機能を維持増進し生活の質の向上を図る上でも重要であることから、「第2次とよあけ健康21計画」において、運動習慣者の割合を増加する目標を掲げて、健康の維持に繋がるような運動習慣の定着に努めている。健康ウォーキングは、参加者数がコロナ禍前の参加数までは戻っておらず、引き続き参加を促していきたい。また、まちづくり指標の「スポーツを楽しむことができている市民の割合」や「スポーツをするために必要な情報が得られている市民の割合」は、めざそう値に届いていないが、引き続きハード面の整備だけでなく、市民一人一人に合わせた身体を動かすきっかけ作りや指導者の育成に努めていくことが重要である。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができる		
大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢持てるまちをつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が趣味や仕事などさまざまな場面でいきいきと活躍できるよう支援する ・高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる ・若い世代が元気な高齢者と身近に交流し、良いところを知る機会や場をつくる 		
主担当部長	健康福祉部長（塚本 由佳）	主担当課	長寿課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	近所の高齢者がいきいきしていると思っている市民の割合	%	54.9	54.3	62.8	59.1	63.7	71.4	○
2	人生が楽しいと感じている高齢者の割合（65歳以上）	%	75.2	72.9	76.7	72.4	80.6	85.7	▲
3	老後の生き方に夢があると思っている若者の割合（50代以下）	%	18.4	25.1	23.5	25.5	29.1	40.3	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	高齢者の老後の過ごし方は健康長寿の観点からも重要であるが、その選択肢も広がり、定年延長により就労を継続される場合やシルバー人材センターに登録して就労される場合など働き方も多様となっている。また、就労ではなく市民大学ひまわり等の講座の受講や運動教室などへの参加、ボランティア活動、地域活動など様々であるが、高齢者が元気に健康で活躍することがまちづくり指標の割合を高め、健康増進だけでなく、孤立を防ぎ、地域のつながり、支え合いが生まれる温かいまちづくりに繋がるものである。本市の要介護認定率は国や県平均と比べ低い状況であり、今後高齢化が進む中、高齢者が外出しやすい環境を整え、多世代と交流できる機会をつくるなど引き続き重度化防止につながる事業を実施していくことが必要である。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	13 教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい		
大施策	教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える		
大施策を構成する中施策	・学校の施設・設備を充実する ・学校以外の教育施設・設備を充実する		
主担当部長	教育部長（浅井 俊一）	主担当課	学校教育課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	子どもにとって必要な教育環境が整っていると思う市民の割合	%	44.3	53.3	42.4	53.2	55.3	64.8	○
2	子どもにとって必要なところに予算配分がされていると思う教育関係者の割合	%	13.1	51.7	49.3	53.8	25.4	38.7	◎
3	歳出の内、教育や子どもための予算の割合	百万円	3,479	5,004	5,104	5,742			
4	歳出の内、教育や子どもための予算の割合	%	19.5	22	22.2	23.1	21	23.2	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	福祉費増などの予算が増大するなか、教育費など子どもたちへの予算の割合はソフト・ハードの両面において一定の予算確保、執行ができている状況にある。ソフト面では、学校教育でGIGAスクールなどICT対応による新たな教育環境整備や、市費負担教員や外国籍児童などへの対応が充実した教育環境確保につながっている。これは教育関係者へのアンケート値にも右肩上がりの形で評価として表れている。一方ハード面では、教育施設は総じて老朽化、旧態化が進んでおり、市民や子どもたちの利用環境、学習環境などの維持のため優先的に必要な改修は進めてきているが、持続的かつ計画的大規模改修など、将来に向けての具体的ビジョンを示していく時期となっている。ニーズを整理しつつ、将来の財政状況を考慮しながら進めていく必要がある。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	14 子どもがずっと育ってきた豊明を大好きでいる		
大施策	子どもがずっと育ってきたとよあけを大好きになる環境をつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士や大人との出会いの機会や場を増やす 子どもの頃から好きな場所や思い出に残る機会を増やす 家族や地域の人がとよあけを好きになる風土を醸成する 		
主担当部長	教育部長（浅井 俊一）	主担当課	生涯学習課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	自然が大切にされていると思っている市民の割合	%	64.8	66.7	69.8	66.1	70.7	76.9	○
2	豊明を自慢できる市民の割合	%	39.3	40.8	43.4	44.8	49.3	59.1	○
3	ふるさと納税の件数	件	2	1,467	918	1,010	6,000	3,000	○
4	ふるさと納税の金額	千円	12	21,133	16,338	24,159	60,000	43,000	○
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	豊明市を自慢できる市民の割合の指標は、高齢世代で低くなるのに対し若い世代で割合が高くなっている傾向が見受けられる。その原因は明確でないが、学校での地域理解の学習や、成長過程で学んだ豊明市の自然や歴史背景、市内施設・文化などが、自ら住んでいる「まち」のよさとしてプラス認識されてきていることが考えられる。また、コロナ時からイベントや地域活動がほぼ復活され、新たな企画も増えてきたことから、子どもや若い世代が豊明の魅力に関することが一定数は共有、経験できてきているものと思われる。今後さらにカラットなどで市民主体で行われる行事や子どもたちが楽しい体験ができる場所や機会が増え、住んでいるまちのよさとして認識できる機会が増えることが、子どもたちの豊明市への愛着につながっていくものと期待する。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画通り進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている	
大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる	
大施策を構成する中施策	・サービスや支援を充実し、負担を軽減する ・多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる	
主担当部長	健康福祉部長（塚本 由佳）	主担当課 地域福祉課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	1日1回以上家族以外の人と会話をしている市民の割合	%	71.3	64.8	65.8	65.7	78.1	84.9	▲
2	日常の中で困っている人に声掛けができている市民の割合	%	44.3	44.6	45.7	43.1	53.8	63.4	▲
3	地域から孤立していないと思っている市民の割合	%	75.8	78.6	78.9	78.8	81.6	87	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	支援を必要とする世帯が増えている中、相談支援体制を強化し適切に対応していくことも重要であるが、地域でのつながりや支え合いが孤立防止や世帯で生じている課題を早期に把握する上では特に重要となる。まちづくり指標は目標値に届いておらず、人間関係が希薄化し、孤立しやすい状況であるが、毎月8日を〇8（オハ）の日とし、関係機関と連携し、あいさつから始まる地域の輪を広げるあいさつ運動の実施や支援を必要とする市民を市民が支えるおたがいさまセンター「ちゃつと」など誰一人取り残されず、つながり合えるまちづくりの実現に向け、民生委員・児童委員とはじめ、多くの市民や関係者の皆様のご理解とご協力のもと取組みを進めることができた。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない	
大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する	
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体者が連携し、家族を支える環境をつくる ・家族を支援するサービスを充実させる ・身近な地域で助け合える環境をつくる 	
主担当部長	健康福祉部長（塚本 由佳）	主担当課 地域福祉課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	介護で困ったときに助けを求めることができる友だちや専門機関があると思う家族の割合	%	57	61.8	59.8	62.3	66.1	74.6	○
2	1週間のうち1回は自分の時間をもてている家族の割合	%	69	62.3	67.7	67.1	76.3	83.4	▲
3	支援が必要になったときに活用できるサービスを知っている市民の割合	%	40.7	42.3	44	46.8	55.7	69	○
4									
5)))
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	高齢化、核家族化に伴い、家庭内で解決が困難な状況となり支援を必要とする世帯が増えている中、介護や子育てに対する支援策の充実を図るとともに、障がい者、生活困窮者、ひきこもり、包括支援など相談体制の強化を図ってきた。しかしながら、既存の制度だけで解決できない複雑な課題を抱える世帯も増加傾向にあることから、重層的支援体制を整備し、自立に向けた伴走型の支援など関係機関が一体となり取り組む体制とした。また、市民同士が支え合うおたがいさまセンター「ちゃっと」など地域の支援の輪も広がっている。まちづくり指標にある困りごとが生じた場合の専門機関や活用できるサービスは認知されつつあるが、今後も支援を必要とする世帯の増加が想定されるため、子育てや介護と仕事・家庭の両立に向けた取組みなど負担の軽減策が必要である。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画通り進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる ・子どもが地域に愛着を持てる環境をつくる ・地域活動を活発にする 		
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課	共生社会課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	地域の活動に参加している子どもの割合	%	72.1	65.3	68	66.7	77.7	83.5	○
2	地域に愛着をもち、地域の活動に参加している大人の割合	%	63.7	71.7	75.1	72.1	70.7	77.5	○
3	近所で5人以上の大人の名前が言える子どもの割合	%	50.4	37.4	37.3	32.5	60.7	69.5	▲
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	地域活動への子どもの参加については、コロナ禍を除いてみると概ね6割の主観指標での子どもの地域活動への参加が維持されており、目標には達していないものの、高いレベルにある。共生交流プラザカラットは年々利用者が増えており、校舎跡施設という親和性からも子どもの利用が多く、大人の活動利用と子どもたちとの交流も始めている。自主的に活動を行う大人が特定の子どもたちに支援を行ったり夢中になれるものを提供するなど居場所として有効に機能していることは本市の共生交流の新たな形として大きな期待がもてる。地域においては高齢化の進展とともに担い手の不足が地域自治の課題となってきており、子どもたちの地域での関わりは地域自治の維持継続にとっても重要なことから様々な場面で意識した取り組みを進めていく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている		
大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる ・関係機関と連携について実効性の高い協定を結ぶ ・行動計画に基づく連携についての訓練を実施する 		
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課	防災防犯対策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	一年間に防災訓練に参加した団体の数	団体	30	36	36	50	45	58	○
2	他自治体及び民間との災害に関する協定の数	件	48	77	80	87	55	74	◎
3	災害時に備えて行政・民間の情報共有ができると思っていると思う市民の割合	%	31.5	37	30.6	34.1	44.9	57.1	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	<p>本市の災害対策は大きく地震災害と豪雨等による浸水被害を想定して自主防災組織等と連携し実効性にこだわった訓練を行ってきている。また、避難所における資機材の充実させるとともに、多様な民間企業等と協定を締結し、災害への備えを図っている。</p> <p>また、激甚化する風水害への備えとして総合治水対策も進めており、既存のインフラの活用や新市街地内に形成する調整池の活用、田んぼダムなど多様な手段により総合的に治水対策を進めている。</p> <p>近年の大規模災害では、避難生活が長引くことによる災害関連死が課題となつており、TKB（トイレ・キッチン・ベッド）など、災害関連死を招かないよう衛生環境を中心に避難所の環境整備も進めていく。</p>
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えて家庭での準備を促す ・災害に備えて地域での準備を促す ・災害に備え家庭と地域の連携を促し、災害時の助け合いの意識を向上させる 		
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課	防災防犯対策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	家庭で防災対策をしている市民の割合（備蓄・避難場所の確認など）	%	57.2	62.5	57.9	69.1	67.8	77.4	○
2	普段から地域で災害時の対応について話し合っている市民の割合	%	28.4	25.2	26.7	28.5	41.5	54.6	○
3	実体験できる講習の回数（応急手当、初期消火など）／年間	回	344	112	132	140	362	168	▲
4	火災に備えて住宅用火災警報器が設置してある割合	%	71	76.1	72.2	71.5	80.4	89.1	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	<p>市全域において区や町内会レベルで自主防災組織が作られており、地域に根差した防災活動を行っている。南海トラフ大地震や激甚化する風水害から命を守るために自助・共助による災害への備えを進めていかなければならない。避難行動要支援者に対しても個別避難計画の作成を少しずつ進めている。こうした取り組みを通じて地域防災力の向上を図っていく。</p> <p>近年想定を超える形で頻発する災害を目の当たりにするなかで市民の不安も高まっており主観指標の結果にも影響しているものと推察される。市民の不安を解消できるよう耐震補強等の補助金について積極活用していただくよう周知していく。また、老朽住宅の耐震対策や火災予防は高齢化や重層支援とも関連が大きいことから、関係課と連携しアウトリーチに努める。</p>
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	20 行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している	
大施策	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用できる支援をする	
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が迅速かつ正確に情報を提供する ・地域の情報発信力が高まるように支援する ・日ごろから住民同士のコミュニケーションが取れるよう支援し、活用できるような情報共有を促す 	
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課 共生社会課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	必要な情報を得るための手段をわかっている市民の割合	%	40.3	51.8	51	54.1	52.9	64.3	○
2	この1年間で、地域の人同士で、まちのことについて意見交換した市民の割合	%	19.6	14	14.3	14.1	29.2	39.9	▲
3	市長への手紙・Eメールの件数	件	111	222	161	151	133	227	○
4	行政や地域の情報を得て、イベントや集まりに参加している市民の割合	%	45.8	28.7	34.8	29.9	55.1	63.8	▲
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	コロナ禍でイベントや集まりに参加している市民の割合は一時低減したが回復傾向となっており、共生交流プラザカラットは年々利用者が増えている。さらにカラットでは自主自立型の活動が多数をしめ、各団体との連携や交流が生まれている。このことは、これまでの行政発信による参加というスタイルを大きく変化させたとも言えることから、この好事例を様々な分野に広げていきたい。市政情報は全てのライフステージに影響する情報のため多くの市民から必要な情報として期待されている。ICTの進展が進んでおり、これまでの媒体に加えてSNSによる情報発信で一定の期待に応えることができている。情報の受け手としては誤情報から身を守るニーズも生じていることから市が責任をもって正確で的確な情報発信に努めていく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画通り進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する ・市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる ・新しい文化を醸成する 		
主担当部長	教育部長（浅井 俊一）	主担当課	生涯学習課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	(この1年で)市外の人に豊明の歴史・伝統・文化の展示会やイベント等を伝えたことのある市民の割合	%	20.5	15.6	14.5	13.3	31.5	41.1	▲
2	高校生・大学生が歴史・伝統・文化を通して人つながっていると思っている市民の割合	%	12.9	18.2	16.8	18.4	23	31.6	○
3	自発的に文化を創造できるような環境が豊明にあると思っている市民の割合	%	16.5	19.3	20.6	23	24.7	33.6	○
4	豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもっている市民の割合	%	45.7	43.3	44.7	39.1	55	64.1	▲
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもっている市民の割合は、めざそう値に届いていないものの、4割程度あり市民意識の高さが伺えるが、市域が戦国時代の古戦場や東海道が縦断しているなどのロケーションであることなどが、市内外における認知度にはプラスに働いていると思われる。市民が豊明の歴史を大事に、誇りに思うこと、また観光、市外PRの観点からも、歴史民俗資料室の活用などを通して、文化の保護、継承への支援を今後も継続していく必要がある。文化会館は指定管理者による自主事業などの各種事業・サービスにより広い世代への文化発信を進めているが、従来からの公民館事業や文化振興事業については継続しつつも、それらとは異なる視点からの文化振興の展開も模索していく必要がある。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	22 行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている		
大施策	積極的に市民の意見を吸い上げる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声を聞く組織風土を形成する 子どもから大人まで意見を述べる仕組みや機会を増やす まちを良くするために市民が互いに議論できる環境をつくる 		
主担当部長	行政経営部長（伊藤 正弘）	主担当課	企画政策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	偏らず、広く市民の声を聞く努力をして、必要に応じて事業に反映していると思う職員の割合	%	63.4	90.1	87.3	79.7	71.3	92.6	○
2	年1回は、行政に関心をもって積極的に働きかけている市民の割合	%	3.7	5.4	7.4	4.8	12.3	21.3	○
3	市民からの意見を吸い上げる制度の実施回数	回	16	22	19	13	21	30	▲
4	附属機関等の公募委員の応募倍率	倍	1	0.86	0.91	0.83	1.7	2.3	▲
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	<p>目標に対して指標が大きく乖離していることから、依然として市民の行政に対する関心が高まっていないことが想像できる。自身への影響度が高くない事業に対して関心を高めていただくことは難しいものの情報発信の在り方はデジタル実装も踏まえて一層積極的に展開していく。</p> <p>職員自身が広く市民から意見を聞く努力をしている割合は目標値に到達し維持していることが望ましいことから意見や提言を受け入れるチャンネル数を増やし、説明・周知等を地道かつ丁寧に行うなど、今後も必要な意見を聞く努力を続けていくとともに、公共事業や施策に対し、如何に関心を持っていただくか具体的に努力していく必要がある。</p>
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	23 世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている					
大施策	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策を実施する					
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が公平と感じる施策を実施する 市民が予算配分を理解できるよう情報を公開し説明する 					
主担当部長	行政経営部長（伊藤 正弘）	主担当課		企画政策課		

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合	%	17.8	24	25.5	32.3	26.9	37.1	○
2	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市職員の割合	%	58.4	78.8	75.3	74.2	66.8	79.7	○
3	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合	%	28.9	40.5	46.5	50.3	39.2	49.4	▲
4	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市職員の割合	%	79.2	92.6	92.8	95.4	84	93.6	○
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	指標はいずれも本市の行政運営が一定程度評価されていると考えられる。但し世代や性別の違いによる予算配分の不公平感は市民と職員とでは大きく乖離がある。この特徴は当初から続いている予算に込めた政策の趣旨理解促進が、如何に難しいかを表している。行政の果たすべき役割は民間企業とは違い税を支払った人に直接サービスを行うのではなく、課題や困難を抱えているなど住民福祉の増進に向けて支援が必要な人たちに対して行政サービスを行っていくことが至上命題で地方自治の原則であることをどう説明しどう理解を得ていくか情報発信の工夫が求められる。今後は高齢化と少子化の進展から世代偏在は拡大固定化する会計もあることから地域社会の維持形成に必要な行政経営をしっかりと発信していかねばならない。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・税収を増やす等、収入を確保する ・持続可能な財政計画を立て、評価・改善する ・税金を効果的、効率的に使う 		
主担当部長	行政経営部長（伊藤 正弘）	主担当課	財政課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	行政が税金の使い方について説明責任を果たしていると思う市民の割合	%	22.3	30.9	36.6	38.5	35.4	47.6	○
2	財政力指数	財政力指数	0.89	0.86	0.84	0.83	0.87	0.91	○
3	経常収支比率	%	85.6	88.3	90	91	84.6	83.56	-▲
4	実質公債費比率	%	2.5	0.4	1	1.2	2.5	0.28	○
5	将来負担比率	%	-8.1	-66.7	-61	-60.3	-8.4	-24.3	○
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	各財務指標は、本市の財政が健全であることを示しており、災害など緊急を要する支出に対応するための基金も一定程度積み立てができている。また、寺池、間米南部の土地区画整理事業による住宅地の開発、柿ノ木工業団地開発による企業誘致は、少子高齢化、生産年齢人口の減少による税収減を緩やかにし、人口減少禍における持続可能な財政運営に向けた施策として動き出している。今後も扶助費の増加や教育施策への投資、東部知多衛生組合負担金、物価高騰や労務単価上昇の影響を大きく受ける公共施設マネジメントなど、高額な歳出が続いている。緊急的な歳出に備えつつ、真に行政が担うべき領域と実施方法を見極めながら常に緊張感をもって財政運営を行っていく必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	25 市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている					
大施策	顧客サービス向上の意識を高め、市民本位の仕事をする					
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 市民に満足してもらおうという意識を高く持ち、サービスの向上を図る 市民に有益な事業を実施する仕組みと組織体制を構築する 					
主担当部長	行政経営部長（伊藤 正弘）			主担当課	秘書広報課	

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	市職員の顧客サービスが高いと思う市民の割合	%	35.8	47.3	52.7	56.1	46.1	56.7	○
2	市職員の顧客サービスが高いと思う市職員の割合	%	74.1	84	80.9	78.8	79.7	84.9	○
3	ワンストップサービスができるだと思う市民の割合	%	66.3	71.1	78.5	80.1	73.8	80.3	○
4	窓口対応についての市民の苦情件数	件	10	15	7	10	7	5	○
5	市民からの要望・苦情に対して行政が改善を行っていると感じる市民の割合	%	35.5	45.5	50.1	53.3	47.5	59.4	○
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	指標は概ね良好であり市民が求める顧客サービスレベルと職員が考える顧客サービスレベルとでは一定の乖離はあるものの継続してきた接遇研修や全市で取り組む「あいさつ運動」の成果が一定程度出ているものと推測する。一方、理不尽な要求や居座りといったカスタマーハラスメントは適正な窓口サービスの提供に影響が出たり、職員が萎縮し精神的なダメージを負てしまったりするケースも生じている。顧客サービス向上のためには、各職員の接遇レベルの向上と併せて、これまで遠慮しがちだったカスタマーハラスメント対策を積極的に進めるなど、職員が働きやすい職場を作っていくことも重要である。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	26 市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい	
大施策	市民にとって必要な情報や行政の取り組みを市民に分かりやすく提供する	
大施策を構成する中施策	・市民にとって必要な情報を分かりやすく提供する ・市民が必要なときに見やすく手軽に行政の情報を受け取れるようにする	
主担当部長	行政経営部長（伊藤 正弘）	主担当課 秘書広報課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	市のホームページが見やすいと思う市民の割合	%	31.5	38.1	41.9	41.9	44.5	57.9	○
2	窓口のレスポンスが的確だと思う市民の割合	%	51	65	68.1	71.9	62.1	71.5	◎
3	市のホームページの情報が役に立ったと思う市民の割合 (%)	%	0	52.1	52.8	64.3	0	63.9	○
4	行政が取り組んでいることが分かりやすいと思う市民の割合	%	0	25.3	27.9	30	0	36.9	○
5	議会改革度調査の情報共有の順位	位	0	337	513	—	0	225	—
6	議会の情報が十分に得られていると思う市民の割合	%	0	22.7	25.7	28.7	0	34.8	○
7									

■総合評価

総合評価	A	情報発信は広報紙やホームページが中からSNSが加わり新たなノードに対応しながら適切に対応してきた。コロナ禍の経験や自然災害の多発など行政情報への期待は高まっているものと推察できる。SNSが普及した今も紙の広報紙は市の情報を手に入れる重要な手段であり続けている。同時に広報紙の配達問題も地域の負担の高まり等も相まって課題としてあり続けている。こうした課題を解決するためにはビッグデータ、AIを活用しパーソナライズされた情報提供が行政分野においても有効な手段の一つだと思われる。これまで申請主義の各行政サービス提供の入り口が対象者には予め行政サービスを提供するプッシュ型に変わりつつある。市民にとって必要な情報をわかりやすく適切なタイミングで提供していくためには自治体DXの推進が一層重要になってくる。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	27 行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している		
大施策	成果志向型の行政経営を実践する		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ P D C A サイクルを確立する ・ 目標達成のために、職員の自己改革力を高め、連携・協力できる組織を形成する 		
主担当部長	行政経営部長（伊藤 正弘）	主担当課	企画政策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	目標の達成度評価を重視して仕事をしている市職員の割合	%	61.7	84	82.5	82	71.4	84.8	○
2	事業改善、新規事業の提案数	件	94	129	88	81	124	160	▲
3	成果指標の年度別達成率	%	32	27.2	29.5	22.5	50	100	▲
4									
5)))
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	指標はいずれも良好であり、窓口対応の苦情件数も減っている。市民が求める顧客サービスレベルと職員が考える顧客サービスレベルとでは一定の乖離はあるものの、コロナ禍にあっても開催方法を工夫して継続してきた接遇研修や、全市で取り組む「あいさつ運動」の成果が一定程度出ているものと推測する。一方、理不尽な要求や長時間にわたって居座るカスタマーハラスメントが目立つようになり、適正な窓口サービスの提供に影響が出たり、職員が萎縮し精神的なダメージを負てしまったりするケースが増えている。顧客サービス向上のためには、各職員の接遇レベルの向上と併せて、これまで遠慮しがちだったカスタマーハラスメント対策を積極的に進めるなど、職員が働きやすい職場を作っていくことも重要である。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている
大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に対応できる体制を整える ・家庭や地域が子どもを大切に思い、支え合うことができるまちを醸成する ・ゆとりを持って男女共に子育てを楽しむことができるよう応援する ・仕事と子育ての両立ができる環境をつくる ・男女の出会いの機会を創出する
主担当部長	健康福祉部長（塚本 由佳）

主担当課 子育て支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	子育てが楽しいと思っている市民の割合	%	84.5	82.3	85.9	80.5	88.8	92.3	▲
2	0~14歳の子どもの数	人	9,749	8,469	8,366	8,212	10,011	10,445	▲
3	豊明市の出生率	人	8.1	7	7	6.6	8.8	10.1	▲
4	市内にある小児科、産婦人科の数	施設	3	5	5	5	5	6	○
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	子どもの数の減少や出生率の低下は全国的な傾向であり、大きな社会問題である。市では、産後ケア事業の拡充、子育てアプリの充実、新入学祝い金の交付、学校給食の補助、全小学校区での児童クラブの実施と放課後子ども教室との一元管理など核家族化に伴う子育てに対する不安感の軽減や子育てと仕事・家庭との両立に向けた取組みの充実を図ってきた。また、地域塾事業費補助金の開始や子連れ出勤（ワチャ）普及啓発事業など地域の人材や事業所と子育てに理解のある温かいまちづくりに向けて意識の醸成を図っている。共生交流プラザ「カラット」に開設した児童発達支援センターや子育て支援センターは、子育て世代が集うことで気軽に相談できる場となっており、また、多世代との交流を通じて、地域ぐるみで子育てを後押しする新たな拠点としていきたい。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる					
大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる					
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健康な育みを支援する 身近に安心して遊べる場所を整備する 身近で共に遊べる仲間づくりを支援する 子どもが外で遊ぶことへの理解を広める 					
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課		共生社会課		

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	自由に楽しく体を動かせていると思う子どもの割合	%	56.2	59.2	61.2	56.1	65.5	74.6	▲
2	子どもが外で元気に安全に遊べる感じている保護者の割合	%	35.1	48.9	53.1	51.3	46.4	57.9	○
3	子どもが元気に外で遊んでいると思う市民の割合	%	39	41.6	47.7	42.3	49.7	60.2	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	本市では、全国初の子連れ出勤ワチャを実施し、内外から大きな注目を集めなど、多くの施策がこどもを育むことを強く意識して展開されている。こうした市の姿勢やこれまでのソフト・ハード事業それぞれの取り組みによって多くの市民の理解や共感をいただくことができている。各指標において目標値には到達していないものの実績値が増加傾向にあることから、これらの取り組みが肯定的に受け止められているものと考える。また、共生交流プラザカラットを開設したことにより、多様な活動や居場所がたくさんの子どもたちを育んでいる。誰ひとり取りこぼさないことを政策として重層的支援を開始しており、よりひとりの子どもの人生に寄り添う取り組みを始めている。子どもたちが元気であるという理想に向けてこれまで同様に支援や環境整備を図っていく。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	30 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている		
大施策	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばす環境をつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を好きでいられるようにする ・好きなことを学び、活動できる機会や場を増やす ・好きなことができるよう周りの大人の理解を深め、支援できるようにする 		
主担当部長	教育部長（浅井 俊一）	主担当課	生涯学習課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	一人ひとりの個性や違いを受け入れていると思う市民の割合	%	84.4	88.8	88.8	88	87.5	90.3	○
2	子どもが参加できる教室やサークルの数	個	33	55	66	56	43	53	◎
3	積極的に自分の好きなことを見つけて取り組んでいる子どもの割合	%	84.9	89.4	90.6	89.8	88.1	90.9	○
4	子どもの行動に対して親の価値観でコントロールしていない親の割合	%	35.4	40.2	40.4	39.8	44.3	53.9	○
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	新たな習い事やサークルなど、多彩な選択や体験が可能な時代となっており、子ども達の個性や感性を育む機会や機運は、社会全体として醸成されてきているものと思われる。教育などにおいては、様々な特性の子どもに、よりきめ細かな対応が可とするために、少人数学級化、特別支援教育支援員の増員配置、児童発達支援センターの開設などから、子どもが育っていく環境整備を実施してきている。また学校の部活動は地域展開として、過去から続く部活動からの変革を進めてきている。行政としては、子どもがそれぞれの特性や興味などを伸ばせるよう、国籍や家計の状況、障がいの有無などに左右されず子ども達が育っていく環境を確保しつつも、それぞれの個性を生かしていくための基盤整備に引き続き取り組んでいく必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	31 豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている	
大施策	とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす	
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・「行きたい」場所をつくる ・とよあけの魅力を発信する 	
主担当部長	経済建設部長（星子 恭士）	主担当課 産業支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	メディアで紹介された市内のイベント、お店、施設の件数（件）	件	123	309	335	439	148	350	◎
2	市外から人を呼べるような場やイベントなどがあると思う市民の割合	%	21.2	17.6	15.9	19.2	31.1	40.1	▲
3	豊明インターを利用した自動車数	台／日	33,700	32,040	32,418	33,094	35,596	37,916	▲
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	まちづくり指標はめざそう値に達していないが、国指定史跡である桶狭間古戦場伝説地のガイド実績は堅調に推移し市内の観光スポットとして確立している。本市への来訪の魅力を高める工夫として、桶狭間ガイドボランティアのガイドはもちろんのこと、御城印等の関連グッズの開発や「大金星のまち」豊明をSNSにより発信を行っていく。花マルシェプロジェクトとして、花に親しむ暮らしを提案する商品や花のイメージやエディブルフラワーを使った菓子等の開発、花に関するイベントを実施して“とよあけ花マルシェ”を発信し、街の賑わい創出や地域経済の活性化につなげる活動を行った。「行きたい」場所としての豊明夏まつり、秋まつりはコロナ禍後のまつり継続に向けて、実行委員会に対し引き続き支援を行う。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	
大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる	
大施策を構成する中施策	・魅力ある職場づくりを促進する ・産業の活性化を図る	
主担当部長	経済建設部長（星子 恭士）	主担当課 産業支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	市外から豊明市に働きに来ている人の数	人	3,593	3,068	3,168	4,586	3,949	5,838	○
2	法人市民税額	千円	687,361	386,064	437,936	497,830	699,370	589,317	▲
3	農業産出量（米）	kg	553,770	991,159	958,204	900,447	560,375	830,000	◎
4	農業産出量（麦）	kg	14,093	103,725	133,432	116,608	17,092	90,000	◎
5	農業産出量（大豆）	kg	11,107	14,589	11,601	1,459	11,937	12,442	▲
6	市外から豊明市に遊びに来ている人が多いと思う市民の割合（子ども）	%	43	46.5	42.5	44.3	49.4	56.4	○
7	市外から豊明市に遊びに来ている人が多いと思う市民の割合（大人）	%	5.2	6.3	6.5	7.1			○

■総合評価

総合評価	B	<p>地域における雇用対策と人材確保を重点的に取り組む施策としている愛知労働局との雇用対策協定により、地域産業を支える人材の確保と求職者の就労を支援するための事業として「就職フェアinとよあけ」などの開催を着実に実施し労働環境の整備を推進していくことができた。農業生産量の指標についてのめざそう値達成度が高水準で推移している。豊明産農産物シールの作成により今後も安定的な推移を目指す。市内で働く場の確保と法人市民税の増額を目的として工業団地の整備については、新左山工業団地に次ぐ整備として、愛知県企業庁と連携した柿ノ木工業団地の整備を進めた。</p> <p>柿ノ木工業団地は、2次分譲が終了し着々と進出企業も決まっている。引き続き県企業庁と連携しながら市内の雇用の場の確保に向け取り組んでいく。</p>
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	33 高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている		
大施策	高齢者、障がい者の活躍の機会や場を増やし、収入と生きがいを得ることができる環境をつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者の活躍の機会や場をつくる ・高齢者、障がい者が経験や知識を活かして働きやすい環境をつくる 		
主担当部長	健康福祉部長（塚本 由佳）	主担当課	長寿課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	自分の働き方に満足している高齢者の割合	%	87.7	77.9	89.1	82.8	90.2	92.6	▲
2	自分の働き方に満足している障がい者の割合	%	64.2	69.7	68.1	66.7	69.9	75.9	○
3	高齢者、障がい者を雇用している企業・事業所数	カ所	49	50	44	42	60	71	▲
4	働く意欲をもっている高齢者の割合	%	55.4	55.6	51.3	49.2	63	69.8	▲
5	働く意欲をもっている障がい者の割合	%	70.3	70.3	68.3	67	76.4	81.4	▲
6	自分の経験や知識を活かすことができていると思う高齢者の割合	%	86.3	75	88.2	72	89.6	91.9	-▲
7	自分の経験や知識を活かすことができていると思う障がい者の割合	%	63.5	64.4	62.4	67.5	68.5	73.3	○

■総合評価

総合評価	B	定年延長や障がい者雇用率の引き上げなどにより高齢者、障がい者の雇用機会は増加しており、働き方の選択肢も多様化している。まちづくり指標は、働く意欲をもっている割合など目標値に届かず、一部、自分の経験や知識を活かすことができていると思う障がい者の割合が策定時に比べ上昇している。引き続き、高齢者や障がい者が生きがいをもって従事できるよう取り組んでいく必要がある。また、高齢者や障がい者が活躍し、生きがいを得ることができる機会や場が働くことで収入を得ることだけではなく、趣味やボランティア活動、地域活動など多様化している。70歳を迎える方に地域デビューを促すパンフレットを送付することやボッチャ大会など交流機会を増やすことは、高齢者や障がい者が活躍する活気のあるまちづくりに繋がるものと考える。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	34 若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている
大施策	若い世代が地域活動で活躍し、地域の自治力を高める
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が地域で活動しやすい環境をつくる ・若者が活躍できる機会や場をつくり、若者の主体的な活動を支援する ・若者が地域活動に興味をもつ環境をつくる ・世代を超えて連携し、地域の問題を自ら解決する環境をつくる
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）
	主担当課 共生社会課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	地域の活動に参加している若者の割合	%	67.8	52.8	53.8	54.8	73.7	79.4	▲
2	自分たちの考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合	%	11.1	13.7	14.8	11.2	22.2	34	○
3	若い世代の地域での活動を尊重し、応援している65歳以上の人の割合	%	57	59.5	64.6	61.6	65.8	73.2	○
4	町内会の加入率	%	78	74.7	72.4	69.9	83	72.5	▲
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	本市は地域一括交付金制度を立ち上げ地域自治力にこだわった行政運営を行ってきた。町内会加入率の維持や家庭ごみの排出抑制など様々な点でそれが表れている。また、公共空間の快適性を維持するボランティア活動などの歴史も重ねてきている。地域においては高齢化を主な要因とする担い手不足への懸念が生じ始めており、地域ごとの工夫や合理化など良い事例の共有や横展開に市は積極的な支援をしていかねばならない。地域活動に参加している若者の割合という指標については高い目標値には到達していないが5割以上を維持して推移しており本市の特性を物語っているといえる。若者世代が地域自治に関わることは次の地域自治にとって欠かせない課題であることから市は地域の声を聴きとめ若者の参加に向けた取り組みに地域とともに挑戦していく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	35 若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている		
大施策	若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 若い人の豊明市に対する愛着や関心を深める 若い人がまちづくりに関わる機会や場を増やす 若い人が新しい感性を活かしてまちづくりに参加できるよう支援する 		
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課	共生社会課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	豊明が大好きな若者の割合	%	74	71	72.3	72.3	79.9	85.4	▲
2	まちづくりに参加できていると感じている若者の割合	%	16.2	12.6	15.6	13.9	26.1	36.7	▲
3	市民提案型まちづくり事業交付金の交付団体数	団体	11	9	13	16	16	21	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	<p>若者のまちへの愛着については高い目標値には到達していないものの、高いレベルで推移しており、成長の過程で多くの地域活動やイベント、祭りに触れ愛着を抱いていただいている結果といえる。まちづくりとしても市街地開発など引き続き成長していくことから若者の愛着への期待に応えていく。</p> <p>若者自身がまちづくりに参加できていると感じることは実際のところ難しい面があり、実績としても低い推移となっている。市長と3中学校の生徒との意見交換会を毎年実施して多くの意見を行政の中に入れ、様々な検討を行い、事業として要望などを実現してきている。このことは若者のまちづくりへの参加そのものであることから、実現に至ったことや経過なども広く生徒の皆さんに伝達することも課題となる。</p>
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	36 女性が職場や地域で活躍し続けている		
大施策	女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・職場や地域において女性の活躍の場を増やす ・女性が社会で活躍する意識を向上させる ・ワークライフバランスのための環境・制度を充実させる 		
主担当部長	市民生活部長（川島 康孝）	主担当課	共生社会課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	職場で働きやすいと感じている女性の割合	%	35.4	42.2	44.7	45.8	45.4	56.7	○
2	育児休暇後に継続して働き続けている女性の割合	%	70.9	63.8	73.4	84.3	76.9	82.3	◎
3	市内企業における女性管理職の割合	%	10.2	12.1	9.9	9.6	17.3	24.4	▲
4	町内会長・区長に占める女性の割合	%	6	10.8	16.8	15.4	12.7	18.8	○
5	男性の育児（介護）休暇取得者数	人	1	27	28	68	9	18	◎
6	男性一人あたりの平均1日家事時間	分	70.6	56.6	52.3	51.3	90.6	110.1	▲
7									

■総合評価

総合評価	B	男女共同参画の取り組みについては様々な啓発を継続的に行ってきました。本市ではLGBTともに生きる宣言を行っており個を尊重することを広く表明している。社会的にもジェンダーの心理的障壁は低くなっているが依然として女性活躍に対する環境としては課題解決が進んでいない面も多い。本市は「こども まんなか まちづくり」を標榜しており、ソフト・ハード事業両面からの支援を進めている。こどもを育む支援を進めることで女性の活躍、暮らしやすさを進めていくとともに、男性の意識啓発にも努めていかねばならない。本市では率先行動として全国で初めての子連れ出勤ワチャを後期に導入し、市内事業所においても改善の取り組みを進める事例が生じている。市役所においても子連れ出勤の事例が多くの職場で行われたことは意識改革につながった。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画通り進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 8日

めざすまちの姿	37 子どもが夢を持ち、将来グローカル（グローバル＋ローカル）に活躍できる人材に育っている		
大施策	将来グローカルに活躍できる子どもを育てる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化を理解し、言葉の壁を越えて主張できるようにする ・夢を実現するための支援をする ・夢を見つけるための環境をつくる 		
主担当部長	教育部長（浅井 俊一）	主担当課	学校教育課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	将来に夢をもっている子どもの割合	%	68.9	65.2	59.6	63.3	75.4	82.2	▲
2	自分の地域や国のことに対する誇りを持っている市民の割合	%	55.9	60.5	63.4	62.3	64.7	73.2	○
3	いろんな国の人々とコミュニケーションをとろうとしている市民の割合	%	30.4	41.4	40.2	35.4	40.7	51.2	○
4	豊明市で育った人が活躍していると思う市民の割合	%	22.2	28.4	24.7	29.4	31.1	40.2	○
5)))	
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	指標上、将来に夢を持っている子どもの割合の指標が伸び悩んでいることから、継続して子どもたちが将来に夢や目標をもって主体的に取り組める校内環境の整備や、人と人とのつながりを確保する機会の創出に努めていく必要がある。また増加する外国籍児童について、学校においては日本語の初期指導を充実させている。しかしながら、義務教育卒業後に壁に直面する場合もあり、市内全体で外国の文化などへの理解を深め、外国人雇用や地域生活において、それが当たり前となる機運が醸成されていくことがグローカルな活躍人材の育成の背景となりうると考えられる。外国籍の児童生徒が多い本市の特性のもとで英検補助などの支援と併せ、より多角的な視点と能力を持った児童生徒の育成に努めていきたい。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	38 すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している		
大施策	子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上する環境をつくる		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ意欲を高める ・学校で質の高い教育を受けられる環境を充実させる ・学力だけでなく社会性や行動力のある子どもを育成する ・親への支援を充実する 		
主担当部長	教育部長（浅井 俊一）	主担当課	学校教育課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	学校で学ぶことが楽しいと思う子どもの割合	%	66.6	76.6	77.2	74.2	74.1	81.7	○
2	悪いことを正されたり、いいところを褒められたりして自分の行動が変わったと感じる子どもの割合	%	76.6	86.4	86.4	86.6	81.4	86.2	◎
3	学習と日常生活につながりを感じている子どもの割合	%	77.1	84.4	82.9	80.8	81.6	86.1	○
4	授業から置いてけぼりにならない子どもの割合	%	57.4	57.8	59.8	52.2	66.6	75.1	▲
5	前よりも勉強や運動ができるようになったと思う子どもの割合	%	79.7	86.2	83	86	84.2	88.3	○
6	学校生活に満足している子どもの割合（小学校）	%	53	59	59	59	63.8	72.7	○
7	学校生活に満足している子どもの割合（中学校）	%	53	53	53	55	63.8	72.7	○

■総合評価

総合評価	B	指標として、前より勉強が運動ができるようになったと感じる割合が増えていくことは、少人数学級が進んできたことやICT環境の充実などがそのプラスの要因として考えられる。教員の働き方改革として負担軽減が求められているなか、質の維持を前提とした効率化や補助スタッフの動員などが望まれる。また、すべての子どもが総じて質の高い学びに参加できることを実現するために、単に学校における教育環境の整備、指導力の向上にとどまらず、運動面での水泳委託事業の実施や、各種の就学補助や地域塾の振興といった教育機会や学力向上を補完する施策、定住外国人や特別な支援が必要な子どもへの多様性の視点からの支援など、さらに幅広く複合的な要素を高めていくよう努めていく必要がある。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画通り進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働く	
大施策	若い人たちの地元での就労を促進する	
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 若い人たちの働く意欲・能力を高める 若い人たちが働きやすい労働環境づくりを支援する 若い人たちと企業をつなぐ仕組みをつくる 	
主担当部長	経済建設部長（星子 恭士）	主担当課 産業支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	有効求人倍率	倍	1.16	1.4	1.2	1.28	1.34	1.44	○
2	市内在住者の市内就業者数	人	1,529	1,748	1,594	1,631	1,775	2,014	○
3	新規起業者数（50代以下）	人	80	41	26	12	100	124	▲
4	市内で働くための情報が得やすいと思っている若者の割合（50代以下）	%	7.8	14.5	14.8	20.5	19.3	30.8	○
5	市内在住者で市内で働きたいと思っている若者の割合	%	48.3	44.8	46	54.6	55.8	62.8	○
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	近隣自治体と合同での就職ガイダンス及び愛知労働局との共催による地元企業就職フェアの開催により、就労希望者と事業者が接する機会を提供できている。参加企業からの聞き取りでは、毎年ではないものの雇用につながるケースもあり対面式を重んじる企業には好評である。創業支援事業計画に基づく創業支援セミナーは、4市町で実施し例年好評を得ており近年の傾向として女性の割合が徐々に増えてきた。新規企業者数（50代以下）の令和6年度実績は12人と少なかったが、窓口応対などで感じる起業に対する意識は引き続き高いと思われることから、商工会や近隣自治体と連携しPRを行い、図書館での特設コーナー設置やSNS等で情報発信を行っていく。愛知県企業庁による柿ノ木地区での工業団地整備により市内の雇用創出を図る。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。

○:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。

▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。

B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。

C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。

D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 7年 12月 5日

めざすまちの姿	40 市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている		
大施策	まちを良くしていくために情報を収集し、失敗を恐れずチャレンジする		
大施策を構成する中施策	<ul style="list-style-type: none"> 常に情報を収集し、学ぶ環境をつくる 失敗を恐れずチャレンジできる人材を増やす チャレンジしやすい環境をつくる 		
主担当部長	行政経営部長（伊藤 正弘）	主担当課	秘書広報課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値(R7)に対する達成度
			H26	R4	R5	R6	R2	R7	
1	先を見据えた仕事ができている市職員の割合	%	49.4	78	78.7	76.8	60.7	83	○
2	他団体からの視察を受け入れた回数	団体	28	261	227	206	37	134	◎
3	議員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合	%	11	21.8	28	31	24.3	37.5	○
4	市長・市職員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合	%	21.9	36.7	37.5	41.8	34.5	47.8	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	地域包括ケアやチョイソコなど先進的な取り組みは全国的に注目されており、他団体からの視察の受け入れ件数は多い状況が続いている。また、重層支援センターの開設やPFIによる新給食センター整備事業、包括管理業務委託、文書管理・電子決裁システムの稼働など、新たな取り組みとして動き出した事業もいくつかある。一方、栄小学校から着手する予定だった長寿命化改修は、物価高騰や労務単価上昇等の影響を受けて工事費が大きく上振れすることが判明したため、一旦立ち止まり再検討することとし大型改修事業の難しさを実感させられた。今後も、前例やこれまでの知見、経験が参考になりにくいケースが増えていくことが予想される。どのような選択肢が適切なのかを考えながら発想豊かに思考を深めて果敢にチャレンジしていく必要がある。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R6)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。